

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

平成30年度実績について

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減等を目的に策定している。（平成31年3月に第4次計画を策定）

1 市の事務事業からの温室効果ガス排出状況

平成30年度に市の事務事業から排出された温室効果ガスは76,594tで、基準年度（平成29年度）比で4.0%の削減となり、本計画（第4次）の削減目標（基準年度比-3.5%）を上回った。

■ 平成30年度実績値及び基準年度等との比較（二酸化炭素換算）

単位：t-CO₂

年度	H29年度 (基準年度)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	目標 (R4年度)
排出量	79,826	76,594	-	-	-	-	77,032
基準年度比	-	-4.0%	-	-	-	-	-3.5%

■ 温室効果ガス削減状況の概要

平成30年度上半期は、猛暑（平年値+3.85℃）により空調設備の使用が増加したことから「都市ガス」や「電気」の使用に伴う温室効果ガス排出量が増加した。一方で下半期は暖冬（平年値+1.26℃）により暖房などに係る光熱費が大幅に削減され、平成30年度全体の温室効果ガス排出量としては、基準年度比で4.0%の削減となった。

■ 今後の取組

温室効果ガス排出量は、気象条件等により増減があるものの更なる削減に向け、市が率先した取り組みを行う。

○暖房の適正運用

暖房の適正運用（“室温”19℃が目安）を徹底し、都市ガス等の使用量を削減

○継続した省エネ行動の推進

ウォームビズや節電、ノー残業デーの徹底等による省エネ行動の推進

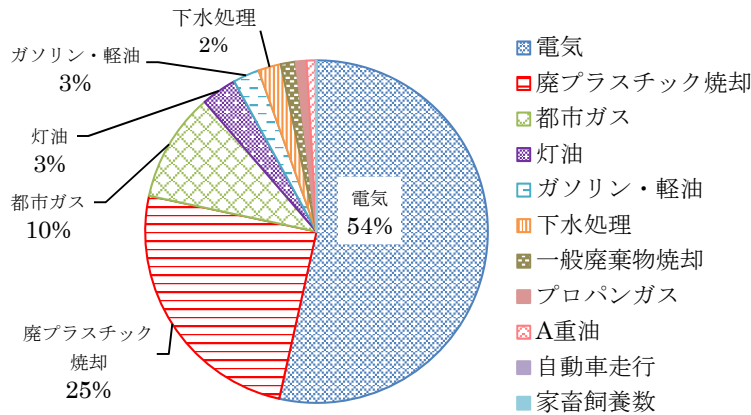
○プラスチックごみ※の削減

- ・プラスチックごみの分別の徹底と排出抑制
- ・マイバッグ等の活用により、レジ袋はもとより、ストロー、フォーク等の unnecessary 使い捨てプラスチック製品の使用を自粛

※プラスチックごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量は市の事務事業全体の25%

2 排出源別の温室効果ガス排出状況

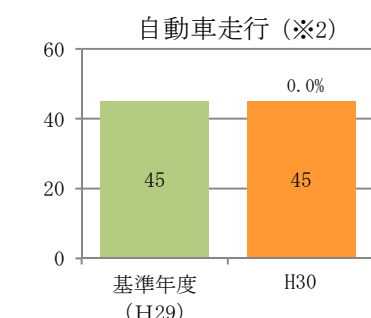
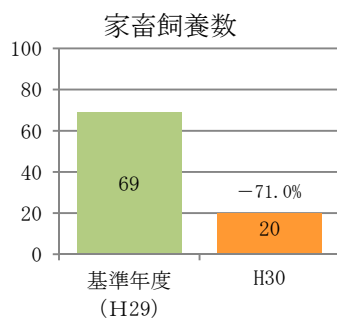
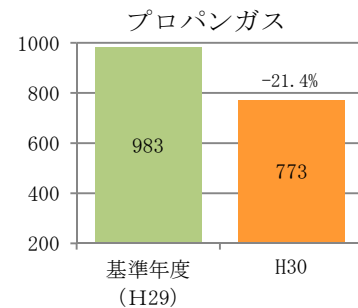
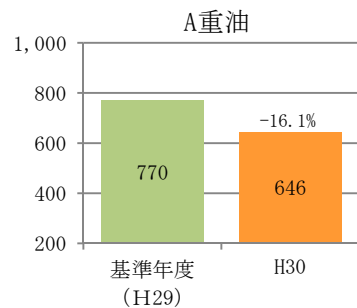
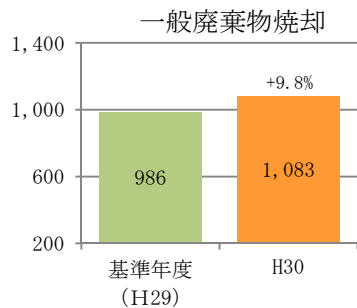
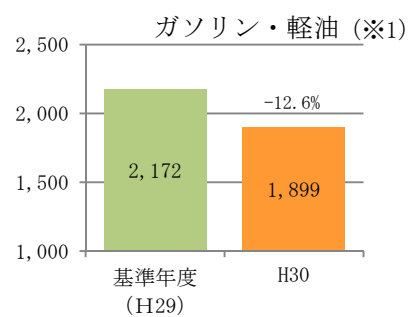
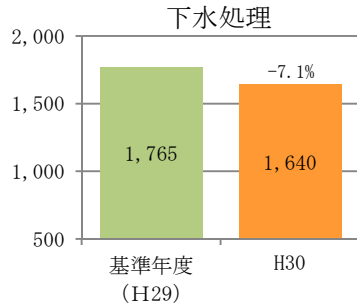
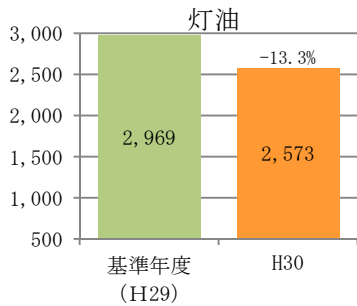
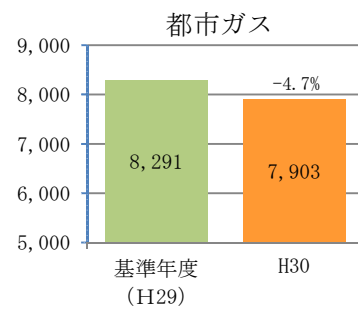
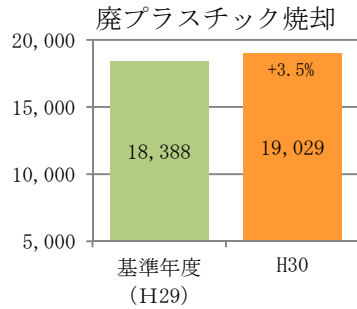
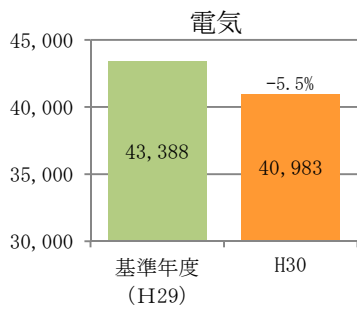
■排出源別の温室効果ガス排出量割合



・前項のとおり暖冬により電気や都市ガス、灯油、ガソリン、軽油等の使用減少に伴い、市事務事業全体の温室効果ガス排出量は、基準年度比で3,232 t削減された。

・一方で、一般廃棄物焼却や廃プラスチック焼却の排出量は、基準年度比で738 t増加した。

■排出源ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

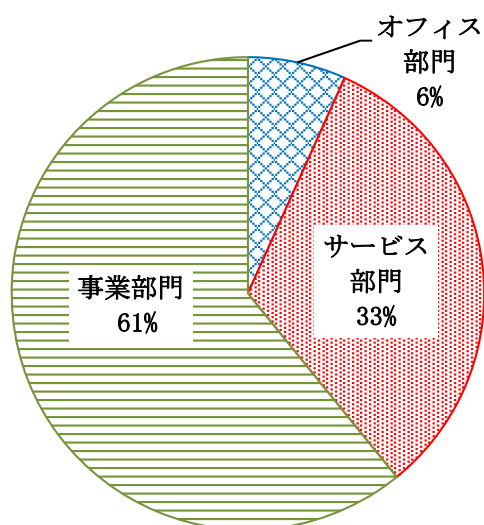


※1 燃料の使用に伴う温室効果ガス排出量

※2 自動車の走行に伴う温室効果ガス排出量

3 部門別温室効果ガス排出状況

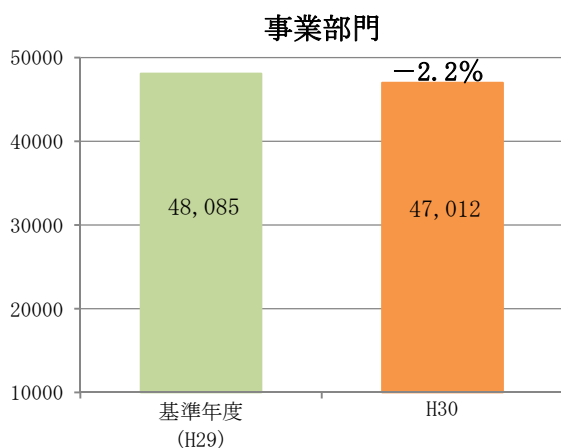
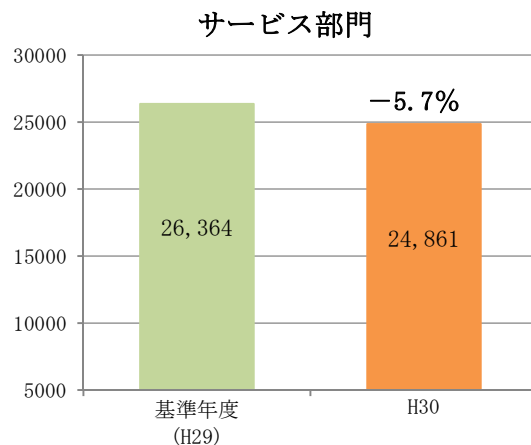
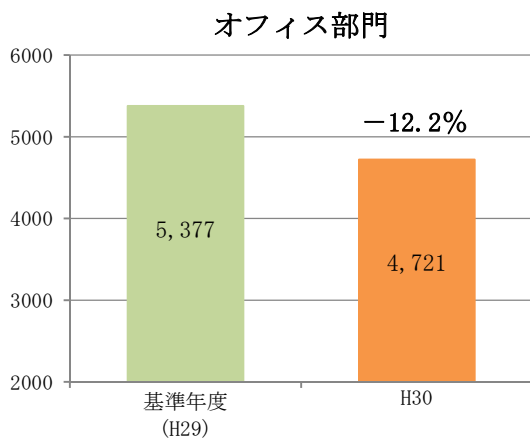
■部門別の温室効果ガス排出量割合



・すべての部門において基準年度より排出量が削減された。
 ・基準年度比の削減率は、オフィス部門が最も大きく-12.2% (排出量: -656 t) だった。これは、各庁舎において暖冬による空調設備に使用する電気や都市ガスの使用量減少が大きな要因と考えられる。

オフィス部門：主に事務を行う施設
 サービス部門：主に市民が利用する施設
 事業部門：ごみ処理や上下水道などの現業を行う施設

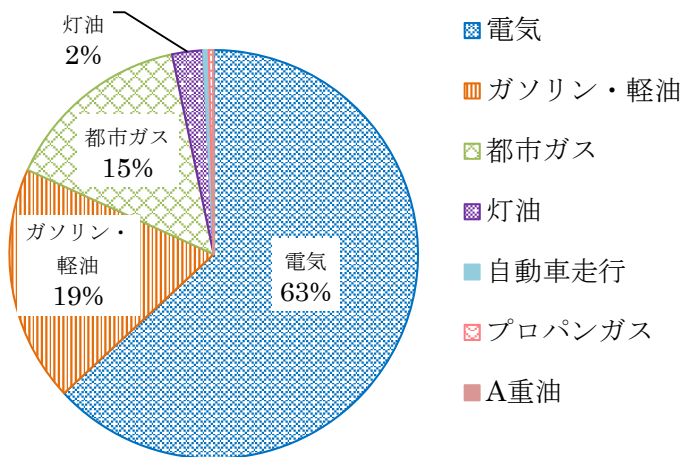
■部門ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(1) オフィス部門

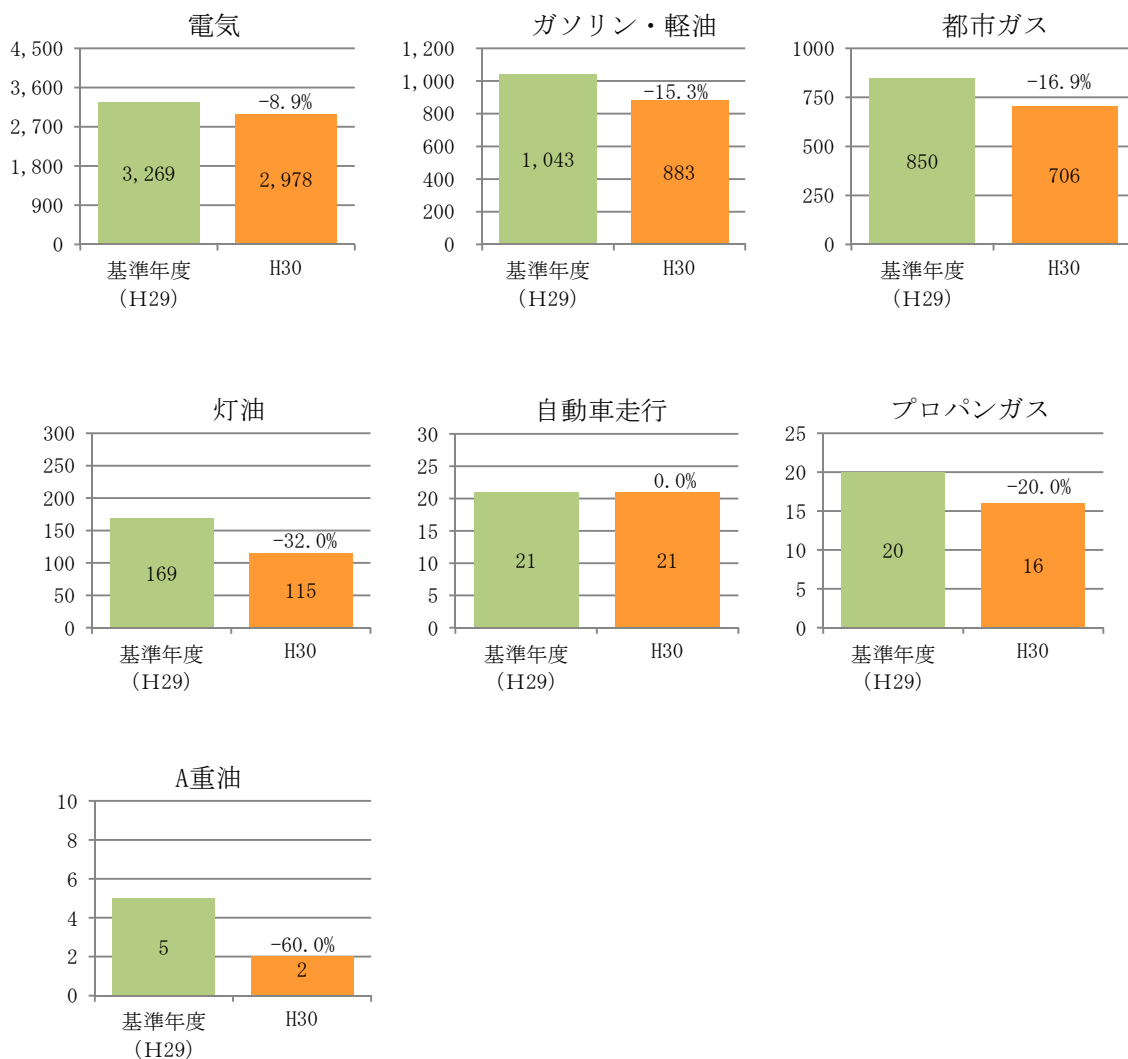
対象施設：本庁舎、さいわいプラザ、大手通庁舎、市民センター庁舎、各支所、水道局舎、消防庁舎ほか

■ オフィス部門の排出量分布



- ・ オフィス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 656 t 削減された。
- ・ すべての項目において、基準年度より排出量が削減した。
- ・ 削減量としては、電気が最も多い。(基準年度比で 291 t 削減)

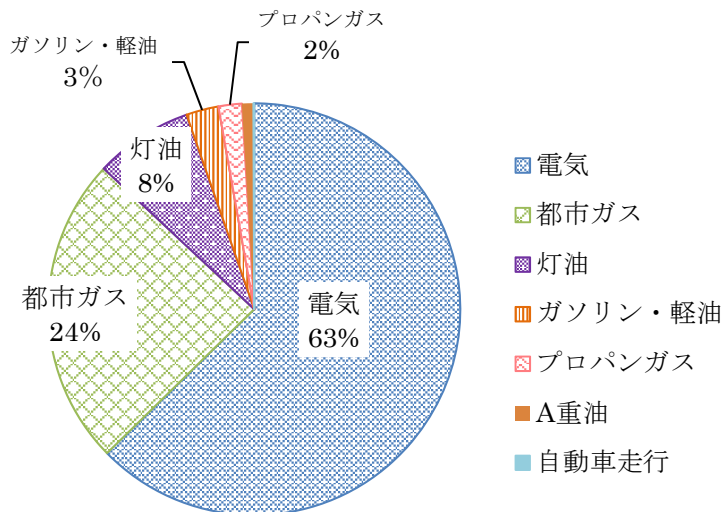
■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(2) サービス部門

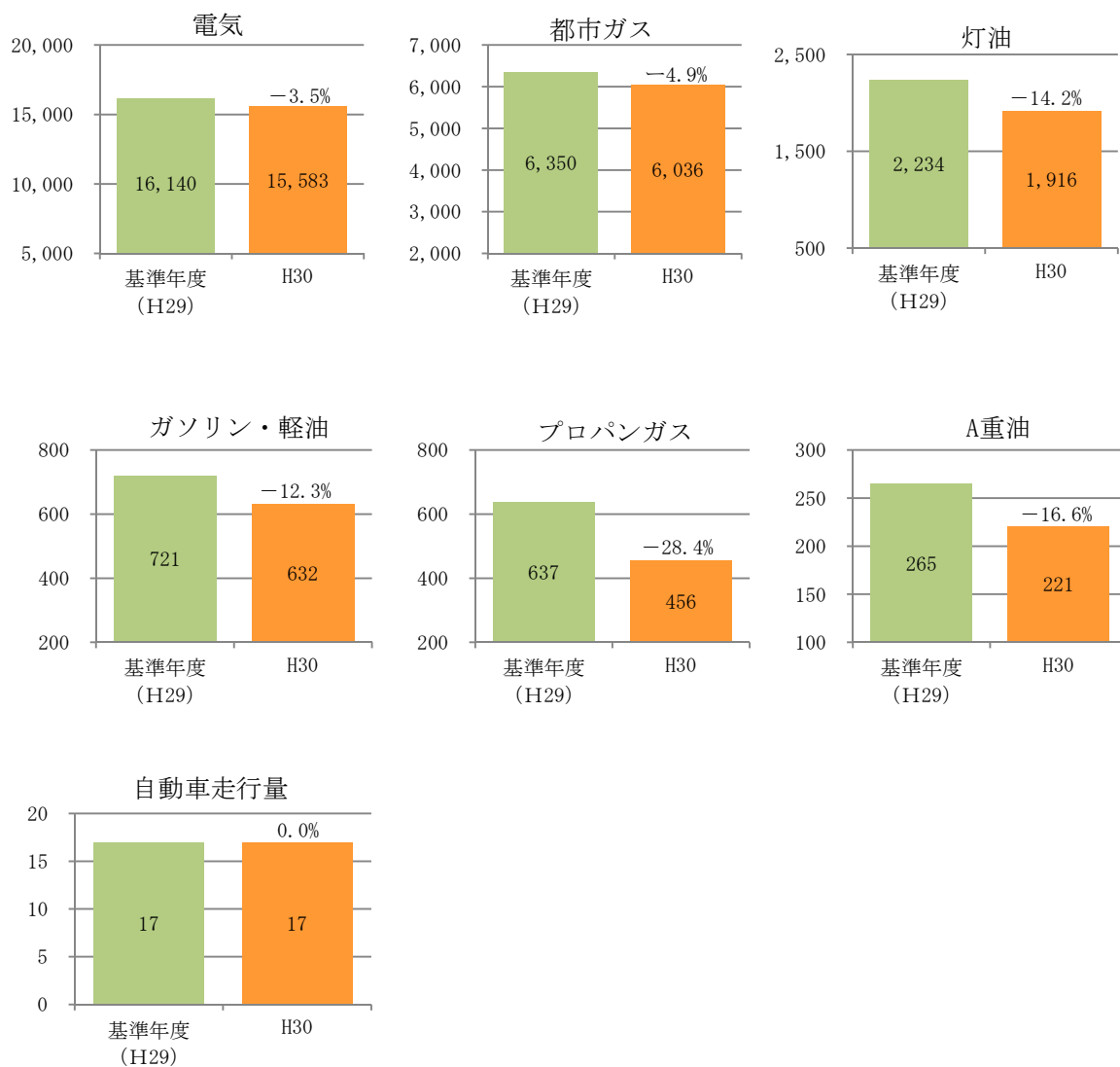
対象施設：市民センター、学校、保育園、コミュニティセンター、体育施設、福祉施設、図書館ほか

■ サービス部門の排出量分布



- ・サービス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で1,503 t-CO₂削減された。
- ・すべての項目において、基準年度より排出量が削減した。
- ・削減量としては、電気（基準年度比で-557 t）や都市ガス（基準年度比で-314 t）が多い。

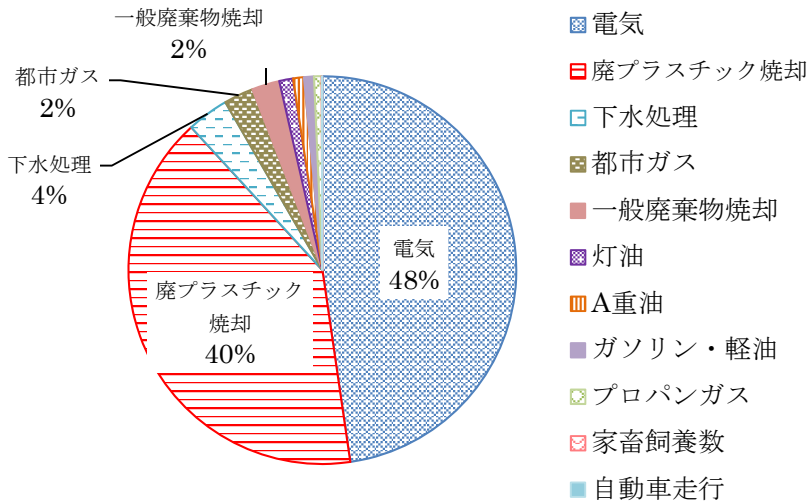
■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(3) 事業部門

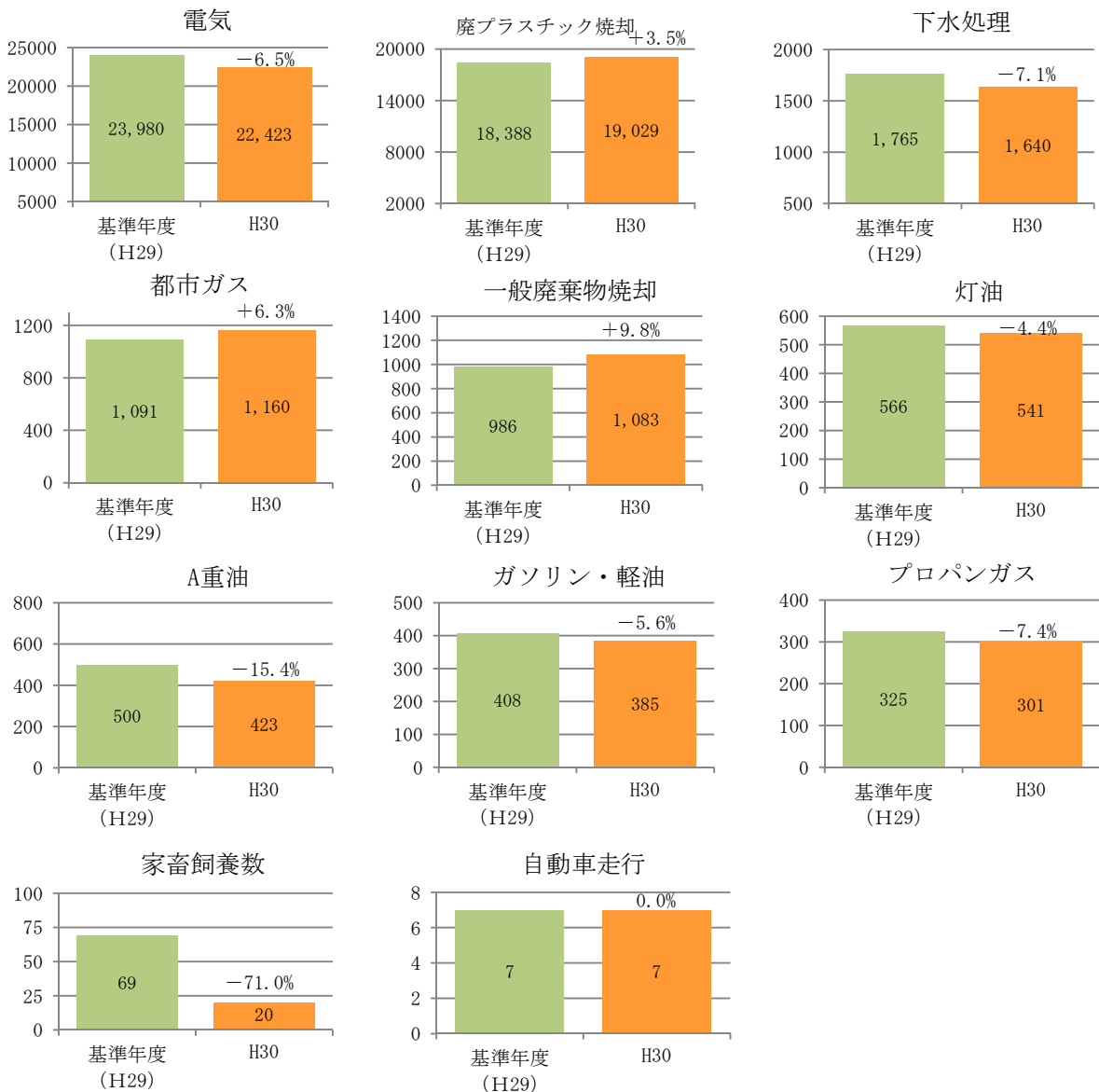
対象施設：ごみ処理施設、浄水施設、下水処理施設、消防署、斎場、市営牧場、学校給食調理施設ほか

■事業部門の排出量分布



・事業部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で1,073 t削減された。
 ・他の部門と比較すると、事業部門のみ都市ガスの排出量が増加している。これは、市有施設（事業部門）において、設備の故障に伴う代替燃料として都市ガスが使用されたことが排出量増加に繋がったものとみられる。

■排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



4 各職場での地球温暖化防止の取り組み

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各職場で独自の地球温暖化防止の取り組みを下記のとおり行った。

■平成30年度の主な取り組み内容

上半期

内容	件数
ノーマイカーデー	100
グリーンカーテン	76
節電（照明間引き、消灯、OA機器等の節電等）	77
マイボトル持参	37
空調適温設定	38
特別ノー残業デー、退勤時間の設定 等	23
電気ポット不使用	12
紙の減量	15
すだれ、遮光カーテン、網戸設置 等	9
クールビズ	3
その他	12

下半期

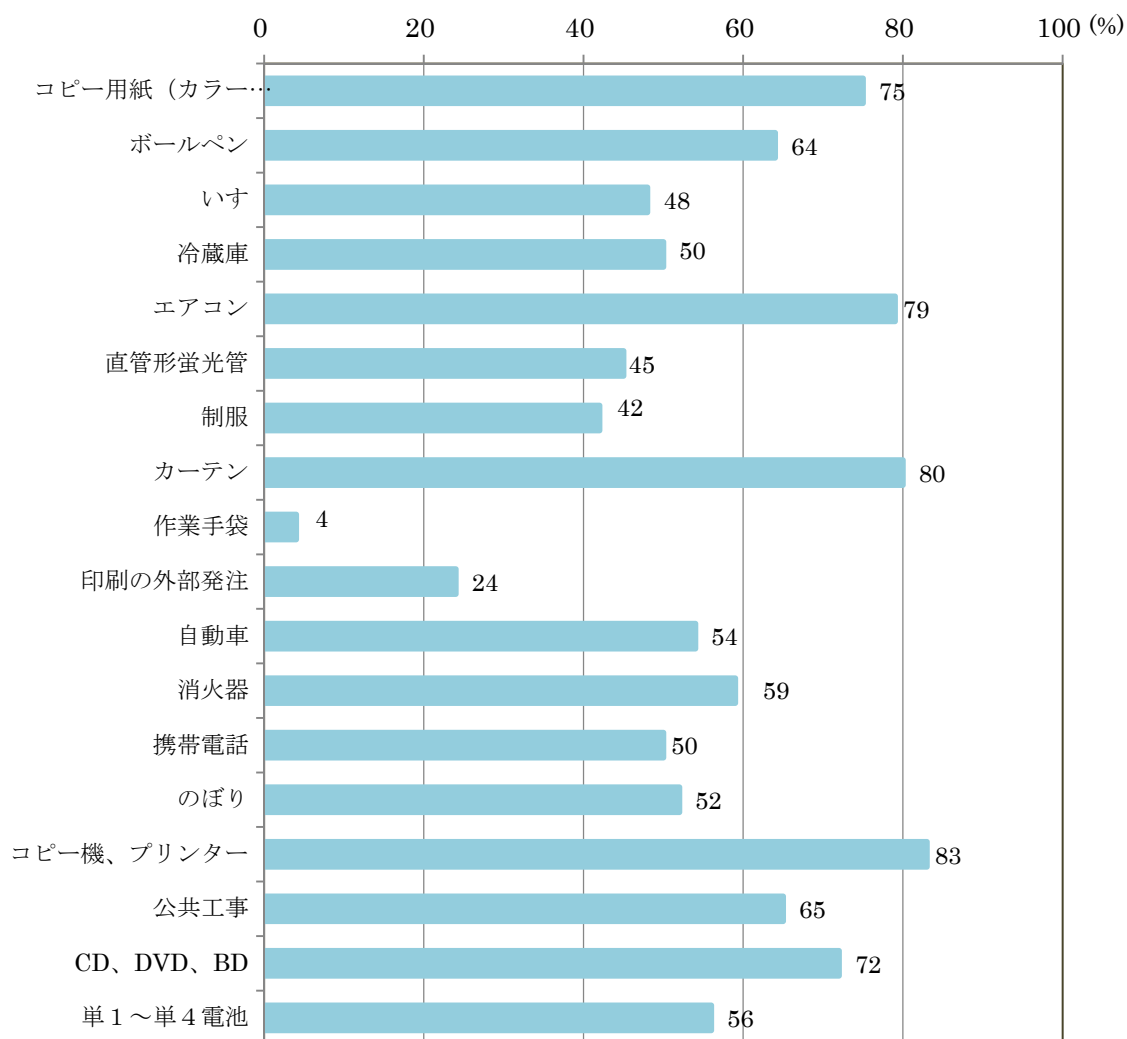
内容	件数
ノーマイカーデー	103
節電（照明間引き、消灯、OA機器の節電等）	89
空調適温設定	50
特別ノー残業デー、退勤時間の設定 等	36
ウォームアップ体操	30
紙の減量	22
マイボトル持参	16
ウォームビズ	15
電気ポット不使用	11
カーテン、仕切り、シートによる断熱	4
その他	7

5 グリーン購入法に基づく物品等の調達状況

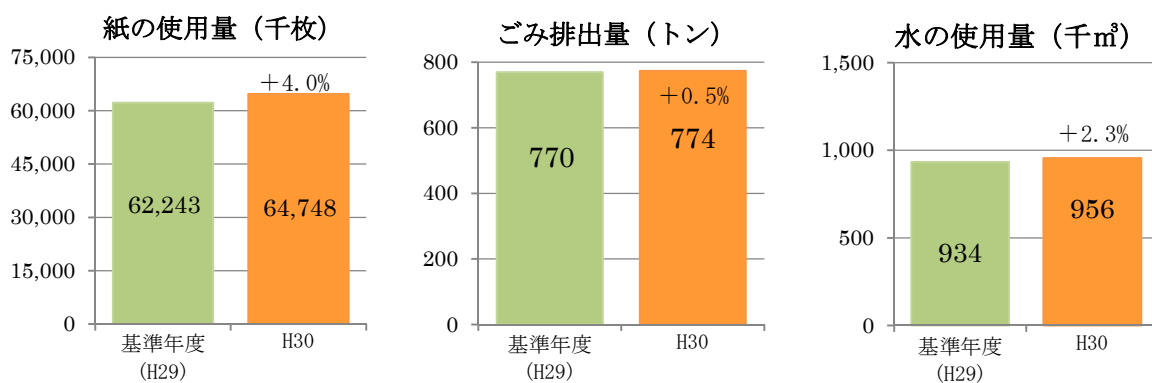
第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の事務事業において物品等の調達が必要な際には、グリーン購入法適応のものを優先的に調達するよう努めた。

平成30年度 グリーン購入率（全体） 74.8%

■購入品目別グリーン購入率



6 紙・水の使用状況及びごみの排出状況



資料

1. 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
電気	43,388	40,983	-5.5%
都市ガス	8,291	7,903	-4.7%
灯油	2,969	2,573	-13.3%
A重油	770	646	-16.1%
ガソリン・軽油	2,172	1,899	-12.6%
プロパンガス	983	773	-21.4%
自動車走行	45	45	0.0%
一般廃棄物焼却	986	1,083	+9.8%
廃プラスチック焼却	18,388	19,029	+3.5%
下水処理	1,765	1,640	-7.1%
家畜飼養	69	20	-71.0%
合計	79,826	76,594	-4.0%

2. 部門別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

部門	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
オフィス部門	5,377	4,721	-12.2%
サービス部門	26,364	24,861	-5.7%
事業部門	48,085	47,012	-2.2%

3. オフィス部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
電気	3,269	2,978	-8.9%
都市ガス	850	706	-16.9%
灯油	169	115	-32.0%
A重油	5	2	-60.0%
ガソリン・軽油	1,043	883	-15.3%
プロパンガス	20	16	-20.0%
自動車走行	21	21	0.0%
合計	5,377	4,721	-12.2%

4. サービス部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
電気	16,140	15,583	-3.5%
都市ガス	6,350	6,036	-4.9%
灯油	2,234	1,916	-14.2%
A重油	265	221	-16.6%
ガソリン・軽油	721	632	-12.3%
プロパンガス	637	456	-28.4%
自動車走行	17	17	0.0%
合計	26,364	24,861	-5.7%

5. 事業部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
電気	23,980	22,423	-6.5%
都市ガス	1,091	1,160	+6.3%
灯油	566	541	-4.4%
A重油	500	423	-15.4%
ガソリン・軽油	408	385	-5.6%
プロパンガス	325	301	-7.4%
自動車走行	7	7	0%
一般廃棄物焼却	986	1,083	+9.8%
廃プラスチック焼却	18,388	19,029	+3.5%
下水処理	1,765	1,640	-7.1%
家畜飼養	69	20	-71.0%
合計	48,085	47,012	-2.2%

6. 配水量について

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
配水量 (千 m^3)	34,852	33,925	-2.7%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※1	6,287	5,706	-9.2%

※1 浄水及び配水作業、その他浄水場において発生する温室効果ガス

7 焼却量について

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
一般廃棄物焼却量 (t)	58,273	64,030	+9.9%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※2	986	1,083	+9.8%
廃プラスチック焼却量 (t)	6,651	6,883	+3.5%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※2	18,388	19,029	+3.5%

※2 焼却に伴い排出される温室効果ガス

8 下水処理量について

項目	基準年度	H30 年度	H30 年度 基準年度比
下水処理量 (千 m^3)	25,328	23,543	-7.0%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※3	1,765	1,640	-7.1%

※3 下水の処理に伴い排出される温室効果ガス